

平成29年度賛助会員 平成28年12月～平成29年4月入金分

賛助会員名	賛助	賛助会員名	賛助	賛助会員名	賛助	賛助会員名	賛助
宮崎照子 様	2口	杉崎俊方 様	1口	森川 清 様	2口	宮崎 正 様	2口
岡村道枝 様	10口	谷岡憲隆 様	2口	飯田 藤治 様	2口	セイワホーム 様	法人1口
*笹森楽譜 様	16口	青山章子 様	1口	渡邊佳子 様	1口	柿本 譲 様	1口
金子多鶴子 様	1口	三浦はるか 様	1口	サンヨーホーム 様	法人2口	成島 弘 様	4口

*笹森先生の遺言により、先生の編曲物を特価で各団に配布しています。そのお金をご遺族のご容謝のもと、賛助会に寄贈するものです。

皆様、ご協力ありがとうございます。



みんなの広場

ドシドシ投稿ください。

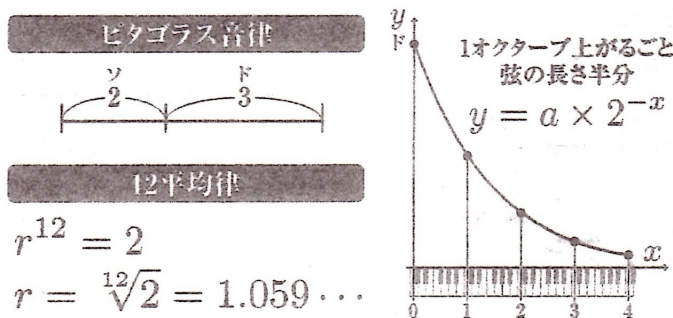
一言つぶやきも歓迎♪

投稿1「音階の根源は数学にあり」

3年ほど前の新聞切り抜き記事に、ドレミの音階は、数学と切っても切り離せない結びつきがあるという話があったので、紹介したい。

古代ギリシャの数学者ピタゴラスは、ドとソの弦の長さの比が3対2だと美しい和音になることに気づき、いわゆる「ピタゴラス音階」を発見しましたが、その後音律は様々な変遷を経て「12平均律」にたどり着きました。17世紀の数学者メルセンヌは、半音が12個になるように弦の長さを同じ比率で伸ばしていき、弦の長さが2倍になると1オクターブ低くなるように計算で求めました。「12平均律」は、弦の長さ y とオクターブ x の関係が「 $y=a \times 2^{-x}$ 」という指数関数で表されるとのことで、このグラフの形がグランドピアノを上から見たあの曲線の形になっているそうです。

(船橋SE 高萩良郎)



♫ 編集後記 ♪

目には青葉、山ほととぎす、初鯉の季節となりました。昨年度は全日本シニアアンサンブル連盟に新たに牛久、石岡、上総の各シニアアンサンブルが加盟されたこと、岡村理事長、松永代表をはじめ関係された方々のご尽力の賜物と心より喜んでおります。今年は第14回全国大会（市川大会）の開催を予定しており、実行委員会が中心になって各楽団の協力をいただきながら、今回は入場無料でもありますので大盛況となるよう進めたいと思います。第64号発行にあたり原稿を寄稿していただきました皆様に深く感謝いたします。（編集長：高萩良郎）